

海の安全レポート

第七管区海上保安本部
海の安全推進室
TEL093-331-6395(交通部安全対策課)

第186号 令和4年9月号



BACKNUMBER (二次元コードは右側をご利用ください。)

https://www.kaiho.mlit.go.jp/07kanku/gyoumu/kyunan/marine_anzen_report/

磯場で釣りをしていたところ潮が満ちて孤立してしまい救助を求める事故が発生しています

【事件事例】

令和4年8月15日0530頃、事故者は佐賀県唐津市所在の磯場を干潮時に歩いて渡り、魚釣りを開始。0700頃、事故者は磯場に波が打ち上がり始めたことから、潮が満ちてきたことを認識するも、釣果が良かったため、そのまま釣りを続行することとした。0900頃、気が付いた時には先ほどよりも潮が満ちており、歩いて来た磯場は消失し、自力で帰る事は出来ず、身の危険を感じたため、118番通報による救助要請を行ったもの。事故者は、防災ヘリにより吊り上げ救助された。



海難発生・防止のポイント

事故者はしっかりと潮汐を確認していなかったため、磯場に取り残され、救助される結果となりました。

釣りに行く前にインターネットなどで釣り場所の潮汐を確認して、満潮・干潮の時刻とともに、満ち引きの大きさを表す「潮位」を把握しましょう。また、高潮、高波が発生している場合は海中転落の恐れが高くなることから、釣りをやめる判断が必要です。

より安全に釣りをするために！

◎装備で安全を確保しましょう

- ・海中転落に備え、ライフジャケットは体格に合った物を選び、ベルトやファスナーは確実に締めましょう。磯場で釣りをする場合、膨張式ライフジャケットでは岩やフジツボに引っかかり破損し、膨張しない恐れがあるため、固定式ライフジャケットを着用するようにしましょう。
- ・靴は滑り止め効果の高い物を着用しましょう。濡れた場所や苔の生えた磯場は滑りやすくなっていることから、スパイクソールの靴が滑りにくく有効です。
- ・緊急時の連絡体制を確保するために携帯電話は防水ケースに入れて持ち運びましょう。防水仕様の携帯電話の場合でも沈まないように気を付けましょう。
- ・夜釣りをするときは照明器具で足元を照らし、突起物や段差に気をつけましょう。

必要最低限な装備

スパイクソール



膨張式ライフジャケット

固定式ライフジャケット



◎釣りの計画を家族たちに伝えておきましょう

釣りをする場所・帰宅時間を家族や釣り仲間などに予め伝え、定期的な連絡を励行しましょう。万が一事故にあってしまった場合、救助機関による事故発生位置の特定など救助時間の短縮につながります。



釣りに関する安全情報

詳しくは、ウォーターセーフティガイド（釣り編）をご覧ください。

URL <https://www6.kaiho.milt.go.jp/watersafety/fishing/index.html>

